

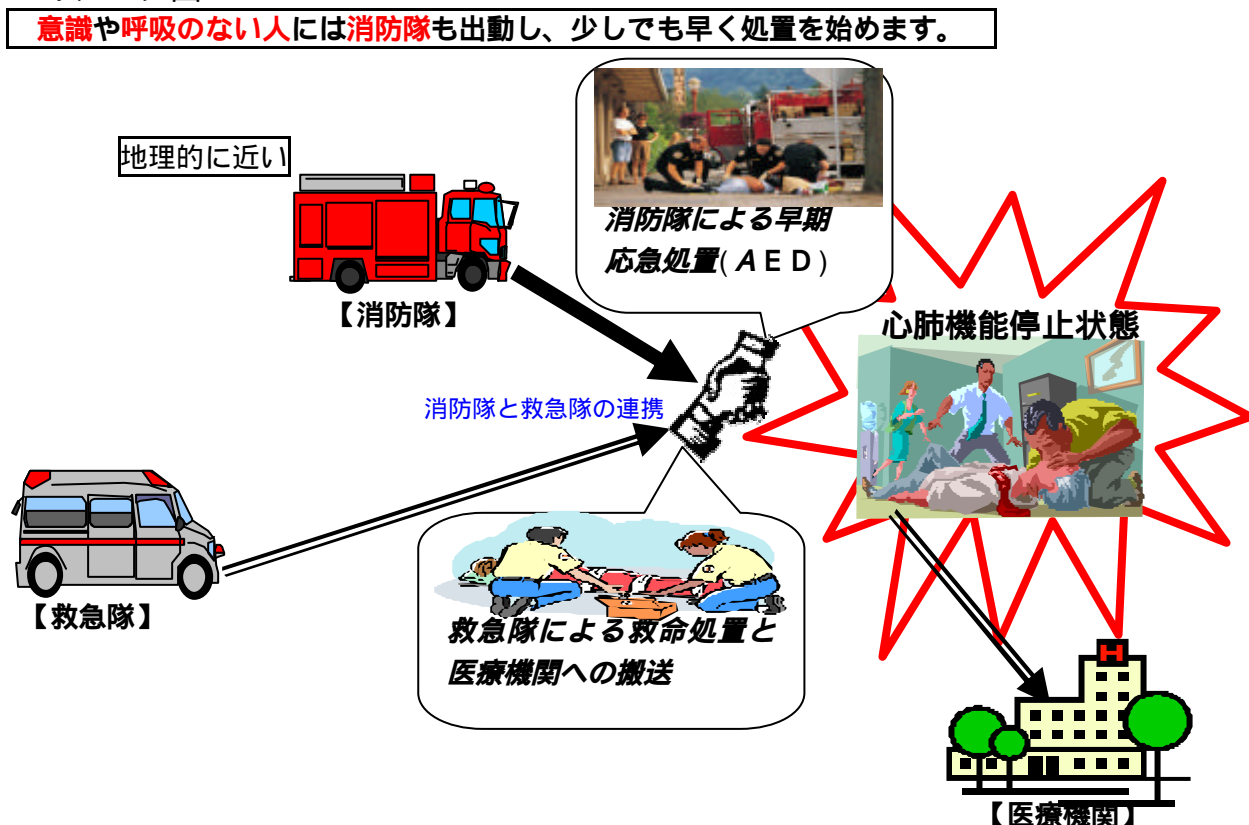
AEDを積載した消防隊の救急支援出動について

救急救命士の処置範囲の拡大(気管挿管、薬剤投与)など救急業務の高度化が図られる一方、救急需要が年々増加している中、一刻も早く救命処置を行い、「救える命を救う」ために、札幌市では、消防隊も救急現場へ出動することとしました。

一般的に、心筋梗塞(こうそく)などが原因で突然倒れた時の心臓は、「心室細動」というけいれんした状態になっている場合が多いと言われています。この場合、心臓は全身に血液を送ることができない状態にあるため、早期に除細動(電気ショック)を実施する必要があります。

救急支援出動する消防隊は、AED(自動体外式除細動器)を積載し、心室細動をはじめとする心肺機能停止状態などの重篤な救急要請に対して、救急隊よりも早く到着して処置ができる場合に出動し、救急隊と連携しながら救急活動に取り組みます。

- 1 AEDを積載する消防隊(54隊)
市内全消防署・出張所(10消防署・44消防出張所)に所属する消防隊
- 2 運用開始日
平成19年1月9日(火)
- 3 救急支援出動の要件
119番通報受信時において心肺機能停止状態が疑われ、消防隊が救急隊より早く現場に到着できる場合
- 4 イメージ図



問い合わせ先
消防局警防部救急課救急係
電話 215-2070

自動体外式除細動器 (AED)とは

AED (Automated External Defibrillator) とは、自動体外式除細動器のことをいい、救急現場で市民の方にも、簡単に安心して除細動(電気ショック)を行うことができるように設計された医療機器です。

AEDは、心停止状態の方の心臓のリズムを自動的に調べて除細動が必要かどうかを自動的に決定するとともに、どのような操作をすべきかを音声メッセージで指示します。除細動を行う必要がある場合に限り、除細動を実施するようにとの指示を音声メッセージで案内するようになっており、安全性が十分に確保されています。



高さ 6.6cm、幅 21.8cm、
奥行21.8cm、重さ2.1kg

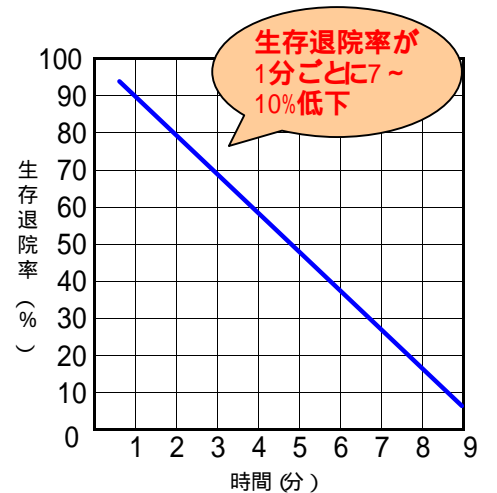
早期除細動の有効性について

心臓が停止すると、4分以内に脳に障がいが発生します。心筋梗塞などが原因で突然倒れたような場合には、心臓のリズムは、心室細動と呼ばれる種類のものが多いことが知られています。心室細動とは、心臓の筋肉が不規則にけいれんして全身に血液を送り出すというポンプの役割を心臓が果たせない状態であり、そのまま放置すると死に至ります。

人工呼吸や心臓マッサージを直ちに始めることは、脳に発生する障がいを遅らすことができ、とても大切なことです。

しかし、心室細動と呼ばれる状態を取り除き、心臓のリズムを正常な状態に戻すためには、心臓に電気ショックを与える除細動を早期に行うことが最も有効な処置であります。

なお、除細動が1分遅れることにより生存退院率が7~10%低下するとされており、その場に居合わせた人が早期に除細動を行うことが極めて重要です。



心室細動の時間経過による生存退院率

救命の連鎖 (Chain of Survival)

救命のためには、「早期通報」「早期心肺蘇生」「早期除細動」「早期救命処置」の4つからなる「救命の連鎖」がスムーズに連携することが必要です。

Chain of survival

